

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道346号 <small>かしまだい</small> 鹿島台バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	宮城県								
起終点	自：宮城県宮城郡松島町東品井沼 至：宮城県大崎市鹿島台出町	延長	6.0km										
事業概要	<p>一般国道346号は、仙台市を起点として気仙沼に至る約173kmの幹線道路である。事業区間の現道は鹿島台の人家連担区域を通過しているため、慢性的な交通渋滞が発生して日常生活に著しい支障を来している。また、過去の吉田川・鳴瀬川の洪水氾濫時には、市街地が甚大浸水被害を蒙ったほか国道自体も水没通行止めとなり、災害復旧活動の遅れの原因となった。このため、国道を国土交通省との共同事業で河川堤防機能を有したバイパスへ転換を図り、洪水時の道路機能を確保し併せて市街地の保全を図るものである。</p>												
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H6年度用地着手	H6年度工事着手										
全体事業費	101億円	事業進捗率	75%	供用済延長	0.6km								
計画交通量	8,100台/日												
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 9.7	総費用 (事業費)/(事業全体) 23/122億円 (事業費：18/118億円 維持管理費：4.2/4.6億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 219/219億円 (走行時間短縮便益：200/200億円 走行費用減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：5.5/5.5億円)	基準年	平成20年								
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（広域登米圏と広域仙台圏を連絡する路線を構成する） 災害への備え（緊急時の第1次緊急輸送路の代替路線） 他9項目に該当（定量的評価項目含む） 												
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 国道沿線の自治体（6市町）で構成される「国道346号整備促進期成同盟会」より早期整備の要望を受けている。 												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> バイパス沿線に記念館や野球場、ショッピングセンター等の建設により新たな市街地が形成され、バイパス整備の必要性が高まっている。 												
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 用地補償は完了しており、事業区間の約7割が着手済みで、このうち約600mについてH14年11月供用開始済みである。 												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 軟弱地盤の対策による若干の遅れは出たものの、ほぼ計画どおりの進捗であり、平成23年度には市街地を囲む二線堤区間約3,400mの供用を予定しており、平成28年度には全線の供用を予定している。 												
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 河川堤防（二線堤）との共同事業により兼用堤とし、用地取得や盛土について共有し、コスト縮減を図った。 												
対応方針	事業継続（事業見直し継続）												
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> 以上を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。 												
事業概要図													
再評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">凡 例</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▩</td> <td>うち供用中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○○○○</td> <td>調査中</td> </tr> </table>					凡 例		▨	再評価箇所	▩	うち供用中	○○○○	調査中
凡 例													
▨	再評価箇所												
▩	うち供用中												
○○○○	調査中												

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。